

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

島根県 出雲市

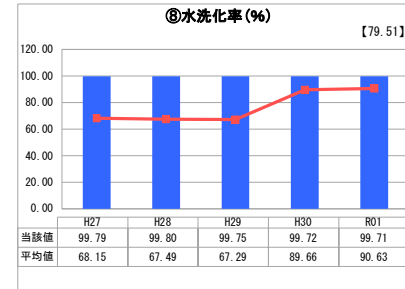
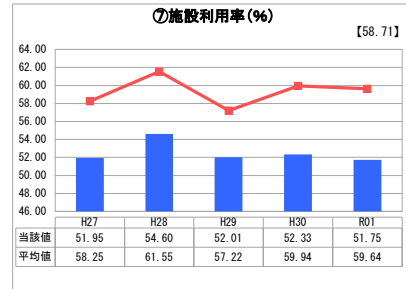
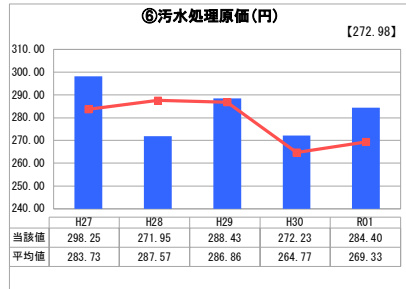
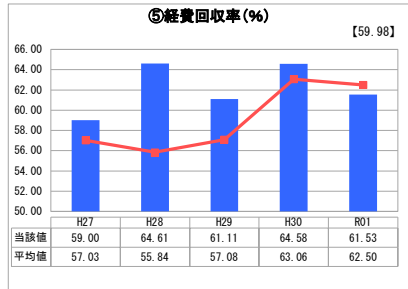
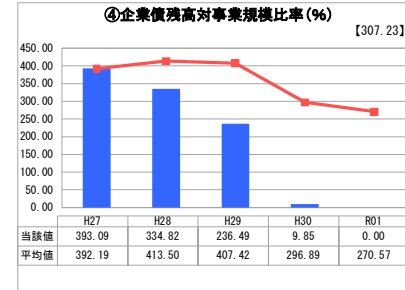
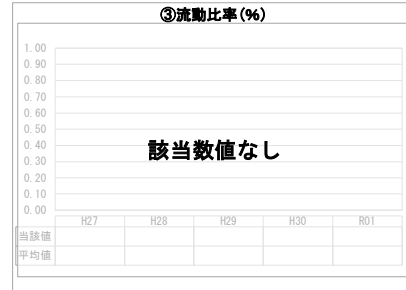
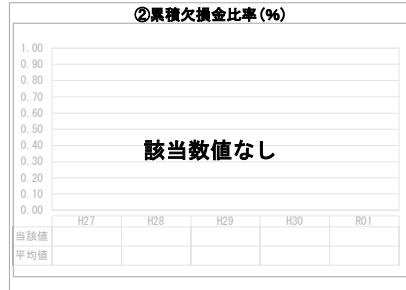
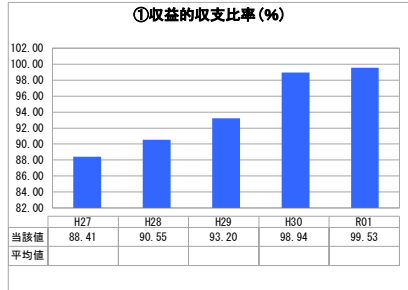
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金 (円)
-	該当数値なし	2.21	100.00	3,352

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
174,995	624.36	280.28
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
3,859	0.02	192,950.00

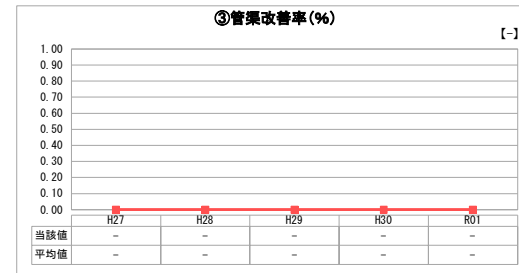
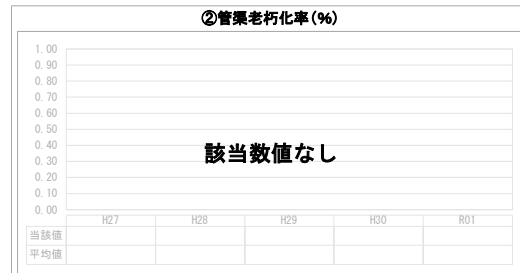
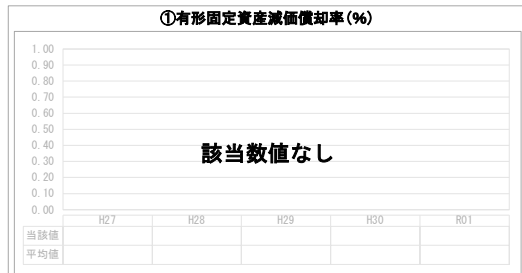
**グラフ凡例**

- 当該団体の値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、個別排水処理事業とあわせ、浄化槽事業会計として実施している。

経営状況は、公共下水道との負担の公平性の観点から、料金体系が同一となっており、料金収入等の自主財源で維持管理経費を賄う事ができず、市債償還額の不足分をあわせ、一般会計繰入金に頼らざるを得ない状況にある。

①収益的収支比率 収益及び費用とも増加したが、費用の増加に比べ、収益の増加が多かったことから前年度より0.59ポイント増となった。

④企業債残高対事業規模比率 企業債残高の償還を使用料で賄えない不足分を、一般会計繰入金で全額埋め合わせているため、比率の計上はない。

⑤経費回収率 汚水処理費における維持管理経費の増額に対し、使用料収入が減収となったことで3.05ポイント減となった。

⑥汚水処理原価 汚水処理費の増額に対して、有収水量が減少したことにより、12.17円の原価の増額となった。

⑦施設利用率 前年度より0.58ポイント減となった。

⑧水洗化率 前年度とほぼ同様で、高い水準を維持している。

### 2. 老朽化の状況について

本事業は、平成15年度から実施した事業であり、法定耐用年数を経過する施設はなく、主にプロアポンプ等の機器類において、老朽化の状況に応じて修繕を行っている状況である。

今後も適正な維持管理に努めるとともに、老朽化の進行、更新期の到来に備えて、長寿命化、更新の方針等について検討を行う必要がある。

## 全体総括

本事業は、新規の浄化槽設置を平成29年度で終了し、今後は施設の適正な管理運営を行っていく必要がある。

令和元年度は、処理区域内人口の減少等から使用水量が減ったことから、それに伴い使用料収入が減収となった。一方、施設修繕等の維持管理経費が増えたことにより、支出も増額となった。

そのため、経費回収率が前年度を下回り、類似団体平均より低い状況である。また、汚水処理原価についても、類似団体より当該原価が高い状況にある。

今後、使用料収入の増収は見込めない状況であることから、施設の適正な管理に努める一方、引き続き経費の削減等に努め、経営の改善を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。